

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
 プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	レブラミド(ATL)
診療科名	血液・腫瘍内科
診療科責任者名	末永孝生
適応がん種	再発又は難治性の成人T細胞白血病/リンパ腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	ATL-5
登録日・更新日	2017年5月23日
削除日	
出典	レブラミド添付文書 J Clin Oncol. 2016;34 4086-4093
入力者	伊勢崎竜也

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	レブラミドカプセル	5mg	25mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input checked="" type="checkbox"/> その他(内服)	1回/日	連日

1コースの期間	日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能()・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%
減量・中止基準	【開始基準】 ANC \geq 1,200 μ L, 血小板 \geq 75,000/ μ L, AST \leq 100IU/L, ALT \leq 150IU/L, T-bil \leq 1.5mg/dL, Ccr \geq 60 mL/min.
前投薬	なし
その他の注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ST合剤、抗真菌薬を予防的に内服しても良い。 ・血栓リスクが高い場合は禁忌でない限りアスピリンを予防内服する。 ・連日内服が難しい場合や副作用が認められた場合は適宜減量・休薬する。

記入者	伊勢崎竜也
確認者	竹内 正美